

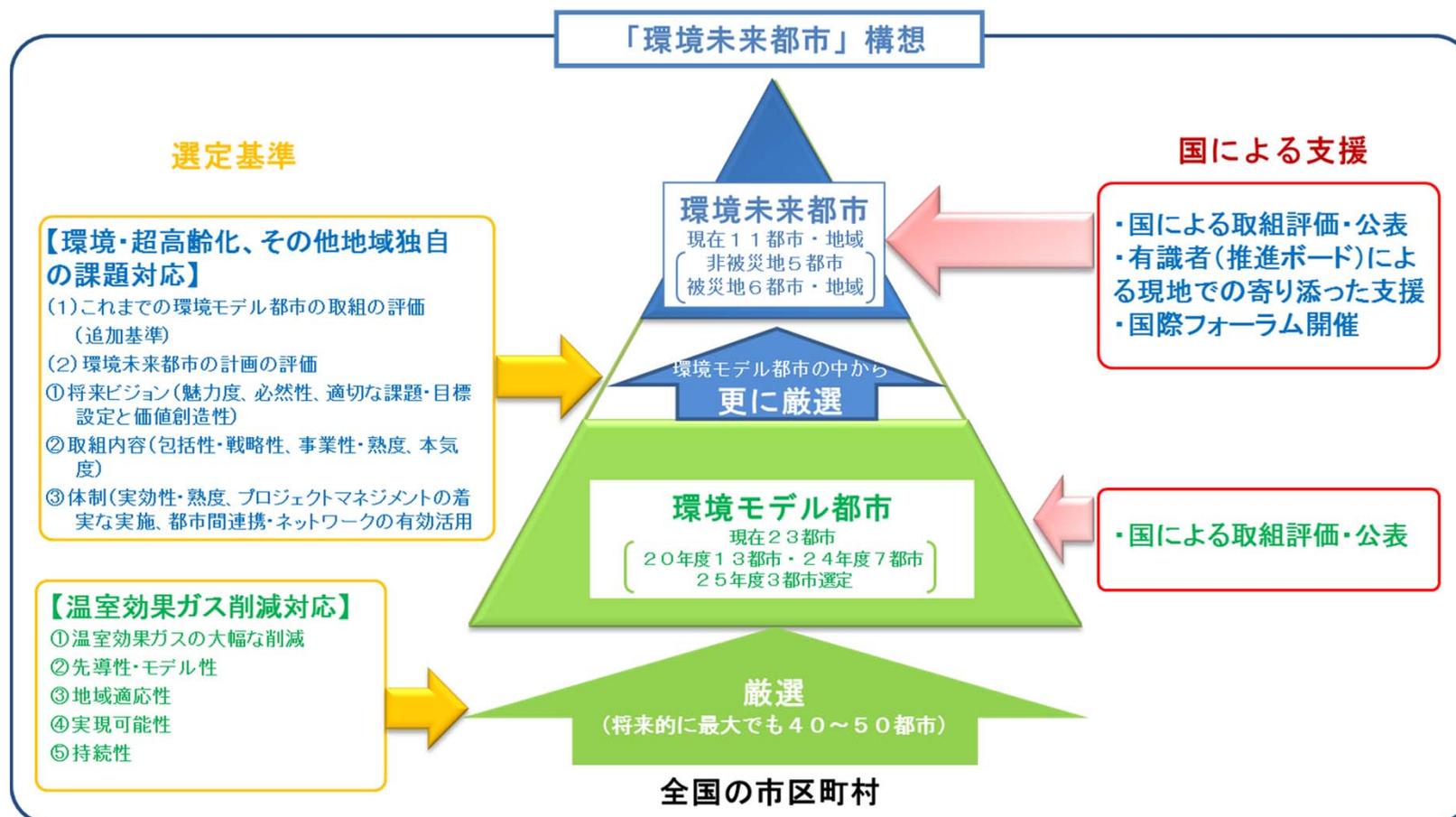
環境モデル都市と環境未来都市

環境未来都市

- 環境、社会、経済の三側面に優れた、より高いレベルの持続可能な都市
- 「環境・超高齢化対応等に向けた、人間中心の新たな価値を創造する都市」を基本コンセプトに、平成23年度に11都市・地域を選定

環境モデル都市

- 「環境未来都市」構想の基盤を支える低炭素都市
- 温室効果ガス排出の大幅な削減など低炭素社会の実現に向け、高い目標を掲げて先駆的な取組にチャレンジする都市・地域として、平成20年度に13都市、平成24年度に7都市、平成25年度に3都市の合計23都市を選定



「環境モデル都市」について

概要

- 我が国を低炭素社会に転換していくため、温室効果ガスの大幅削減など**高い目標を掲げて先駆的な取組にチャレンジする都市**を「環境モデル都市」として選定・支援し、**未来の低炭素都市像を世界に提示**
- 地域資源を最大限に活用し、**低炭素化と持続的発展を両立する地域モデルの実現**を先導

経緯

【平成20年度選定】 第169回国会における福田内閣総理大臣(当時)施政方針演説(平成20年1月18日)を受け、環境モデル都市を募集

13都市選定 下川町、帯広市、千代田区、横浜市、飯田市、豊田市、富山市、
京都市、堺市、^{ゆすはらちよう}橿原町、北九州市、水俣市、宮古島市

【平成24年度選定】 東日本大震災を契機に、低炭素まちづくりを全国に一層普及させるため、追加選定を実施(最終的に全国40-50都市に拡大)

7都市選定 つくば市、新潟市、^{みたけちよう}御嵩町、神戸市、^{にしあわくらそん}尼崎市、西粟倉村、松山市

【平成25年度選定】 3都市選定 ^{にせこちよう}ニセコ町、^{おぐにまち}生駒市、小国町

※環境モデル都市選定の視点・基準

①大幅な削減目標 ②先導性・モデル性 ③地域に適応 ④実現可能性 ⑤持続的な取組

環境モデル都市のイメージ

コンパクト
シティ化



森の保全
と活用



交通体系の
整備



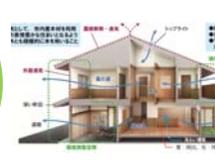
環境教育



再生可能
エネルギー



居住スタイル
の変革



都市内で
統合的に推進

ライフスタイル・ビジネス
スタイルの転換

地域の活力を創出

選定された環境モデル都市

【平成20年度選定都市】

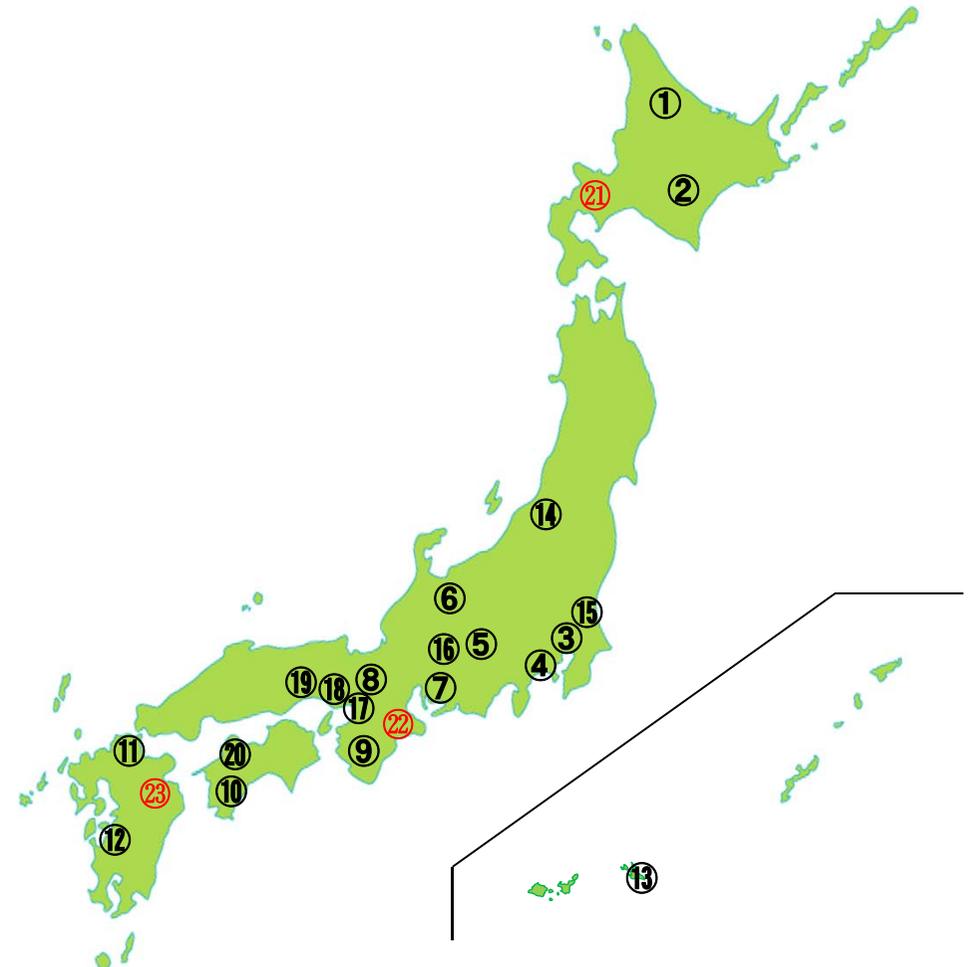
No.	市区町名	人口	取組概要
①	下川町 (北海道)	3,600	北の森林共生低炭素モデル社会・下川
②	帯広市 (北海道)	168,000	田園環境モデル都市・おびひろ
③	千代田区 (東京都)	50,000	省エネ型都市づくり、エネルギー効率向上
④	横浜市 (神奈川県)	3,690,000	横浜スマートシティプロジェクトの展開
⑤	飯田市 (長野県)	103,000	市民参加による自然エネルギー導入、低炭素街づくり
⑥	富山市 (富山県)	420,000	富山市コンパクトシティ戦略によるCO2削減計画
⑦	豊田市 (愛知県)	420,000	次世代エネルギーとモビリティを活用した低炭素まちづくり
⑧	京都市 (京都府)	1,470,000	人が主役の魅力あるまちづくり、「地域力」を活かした低炭素化活動
⑨	堺市 (大阪府)	840,000	「快適な暮らし」と「まちの賑わい」が持続する低炭素都市
⑩	梶原町 (高知県)	3,800	木質バイオマス地域循環モデル事業
⑪	北九州市 (福岡県)	970,000	アジアの環境フロンティア都市・北九州市
⑫	水俣市 (熊本県)	27,000	環境と経済の調和した持続可能な小規模自治体モデルの提案
⑬	宮古島市 (沖縄県)	52,000	島嶼型低炭素社会システム・「エコアイランド宮古島」

【平成24年度選定都市】

No.	市区町名	人口	取組概要
⑭	新潟市 (新潟県)	808,000	「田園型環境都市にいがた」～地域が育む豊かな価値が循環するまち～
⑮	つくば市 (茨城県)	217,000	つくば環境スタイル“SMILe”～みんなの知恵とテクノロジーで笑顔になる街～
⑯	御嵩町 (岐阜県)	19,000	地域資源(森林、公共交通、再生可能エネルギー等)を活かした低炭素コミュニティ「みたけ」の実現
⑰	尼崎市 (兵庫県)	451,000	「ECO未来都市あまがさき」へのチャレンジ
⑱	神戸市 (兵庫県)	1,542,000	神戸市環境モデル都市
⑲	西粟倉村 (岡山県)	1,600	「上質な田舎」を目指した、低炭素モデル社会の創造
⑳	松山市 (愛媛県)	513,000	環境と経済の両立を目指して「誇れる環境モデル都市まつやま」

【平成25年度選定都市】

No.	市区町名	人口	取組概要
㉑	ニセコ町 (北海道)	4,800	国際環境リゾート都市・ニセコ スマートチャレンジ86
㉒	生駒市 (奈良県)	121,000	日本一環境にやさしく住みやすいまち「いこま」～市民・事業者・行政の“協創”で築く低炭素“循環”型住宅都市～
㉓	小国町 (熊本県)	7,900	地熱とバイオマスを活かした農林業タウン構想



「環境未来都市」について

目的

- 限られた数の特定の都市・地域において、世界に類のない**成功事例を創出**
- 成功事例を**国内外に普及展開** → 需要拡大、雇用創出、国際的課題解決力の強化

概要

- 環境・超高齢化対応等に向けた、人間中心の新たな価値を創造する都市を目指す。
= **環境価値、社会的価値、経済的価値の創造**により、「誰もが暮らしたいまち」「誰もが活力あるまち」を実現。人々の生活の質を向上。
- 環境と超高齢化対応は必須のテーマ**。海外とのネットワーク化による強力な国際連携の下で実施。都市・地域の実情や戦略により、適宜テーマを追加。
- 生活の基盤としての教育、医療・介護、エネルギー、情報通信技術等に関する社会経済システムへの適用のための社会実践を集中実施。
→ 自律的なモデルの構築
- 国は国際フォーラムの開催、有識者による選定都市への助言、モデル事業に対する補助金等の支援を行っている。

以上「環境未来都市」構想のコンセプト中間取りまとめ
(平成23年2月「環境未来都市」構想有識者検討会)より

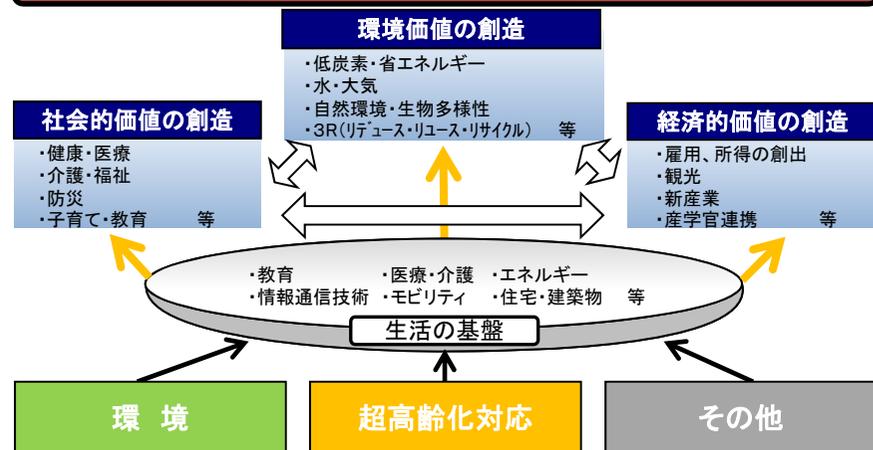
経緯・イメージ

平成23年9月1日から9月30日まで(被災地は10月25日まで)募集し、被災地6件を含む30件の応募あり。

➡ **環境未来都市として、被災地6件を含む11件を選定**
(平成23年12月 総理大臣決裁で選定)

- 被災地域以外(5件)
北海道下川町／千葉県柏市等／神奈川県横浜市
／富山県富山市／福岡県北九州市
- 被災地域(6件)
岩手県大船渡市・陸前高田市・住田町等／岩手県釜石市
／宮城県岩沼市／宮城県東松島市／福島県南相馬市
／福島県新地町

環境・超高齢化対応等に向けた、人間中心の新たな価値を創造する都市



選定された環境未来都市

